

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	日本の音楽 (Traditional Music in Japan)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	鑑賞から学ぶ日本の音楽—古典を中心に		
担当者名 (Instructor)	三浦 裕子(MIURA HIROKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

- (1) 日本の古典音楽に関する基礎知識を養う。
- (2) 歴史的な視点に立って、日本の古典音楽の流れを把握する。
- (3) 総合的視野から日本の古典音楽の美を理解し、現代との接点を探る。

(1) Students will acquire basic knowledge about Japanese classical music. (2) Students will grasp the flow of classical music in Japan from a historical point of view. (3) Students will understand the beauty of Japanese classical music from a comprehensive perspective, and explore contact points with the present.

授業の内容(Course Contents)

日本の古典音楽には多くのジャンルがあり、多様な広がりを見せている。その特徴には次のようなことがあげられる。

- (1) 多くが声楽である。
- (2) 舞踊・演劇・美術などの諸要素と深く結びついている場合が多い。
- (3) 先行の芸能・音楽などの影響を受けている場合が多い。

日本の古典音楽の各ジャンルを通じて上記の特徴を学ぶと同時に、基礎知識を習得し、歴史的な流れを把握する。また実演家による演奏を鑑賞し、日本の古典音楽の美を理解し、現代に生きる我々との接点を探る。

There are many genres and great variety in Japanese classical music. In terms of its characteristics, we can say that (1) Many works are vocal music, (2) Many works are connected closely to elements such as dance, theater and art, and (3) Many works are influenced by leading entertainment and music. At the same time as learning the above characteristics through each genre of Japanese classical music, students will acquire basic knowledge and understand the historical flow. Also, students will appreciate performances by performers, understand the beauty of classical Japanese music, and explore the contact points with us in our modern lives.

授業計画(Course Schedule)

1. 日本の古典音楽を概観する(1)—歴史的な流れを確認する
2. 日本の古典音楽を概観する(2)—全体に共通する特徴を知る
3. 雅楽の紹介と鑑賞
4. 声明の紹介と鑑賞
5. 平家および琵琶楽の紹介と鑑賞
6. 能の紹介と鑑賞
7. 狂言の紹介と鑑賞
8. 三線および三味線の紹介と鑑賞
9. 歌舞伎の紹介と鑑賞
10. 人形浄瑠璃文楽の紹介と鑑賞
11. 箏曲および尺八の紹介と鑑賞
12. 組踊および琉球芸能の紹介と鑑賞
13. 国家と文化政策を考える
14. まとめ～現代との接点を探る

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習・復習の一環として以下に努めること。

1. 日常生活に鳴り響いている音楽を意識的にとらえる。
2. 日本の古典音楽を実際に鑑賞する機会を積極的に見つける(動画上でも可)。

その具体的方法などについては、必要に応じて授業内に指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/授業内に行う小テスト 10%×5 回(回数は増減する可能性があるが、合わせて 50%とする)(50%)

2/3以上の出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

テキスト(Textbooks)

とくになし。適宜プリントを配布。

参考文献(Readings)

日本芸術文化振興会および文化庁の HP

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

ゲストに実演家を迎え、実際に日本の古典音楽を鑑賞する機会を数回設ける予定である。ゲストの都合により、紹介・鑑賞する音楽のジャンルの順番が変わることがある。

鑑賞にふさわしい演奏会などの情報を適宜、知らせる予定である。

講義時には静粛を求める。

講義の内容および音楽全般に関する質問を大歓迎する。

注意事項(Notice)